

(実績) 第2回国際森林年国内委員会 ～復旧・復興に向けた主な意見～



- ▶ 国産材で合板を製造することで、地元還元ができ復興に寄与できる。
- ▶ 三陸の海岸沿いに企業支援で緑の回廊をつくれぬか。
- ▶ 避難者の生活を改善するため、木造の仮設住宅の整備に取り組むべき。
- ▶ 復興のグランドビジョンをつくり、その中で森はどうあるべきか考えるべき。
- ▶ 都市部と地方部が非常時に備えて、お互いに資材(例えば、仮設住宅用木材など)を備蓄しておくべき。
- ▶ 林野庁が被災者を取り込む雇用の場をつくるべき。また、各都道府県に仮設住宅キットを備蓄しておくべき。

▶ 25

(実績) 日本中央競馬会との連携



- ▶ 4月23日(土)、東京競馬場(府中市)において、国際森林年記念レースとして「新緑賞」を開催。
- ▶ 優勝は3番人気のショウナンバーズ号(牡3歳美浦・国枝厩舎 北村宏司騎手騎乗)。

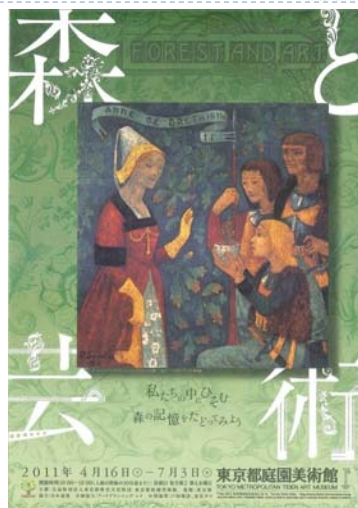


▶ 27

(実績) 「森と芸術」展示会



- ▶ 4月16日～7月3日、東京都庭園美術館において「森と芸術」の企画展示が開催。
- ▶ 「私たちの中にひそむ森の記憶をたどってみよう」がテーマ。



▶ 26

(実績) 国内委員会事務局による特別協力



- ▶ 4月より委託事業「国際森林年推進事業」により国際森林年国内委員会事務局を立ち上げ。
- ▶ 全国の様々なイベントに対して、のぼり等の広報媒体の供与をはじめ、ホームページによるPRの協力などを行い、国際森林年への認知を向上。

4月23日～24日のアースデー東京
(CWニコル・アフンの森のブース)



4月24日の「林試の森フェスタ」



▶ 28

(実績) 政府広報ラジオ番組



- ▶ 政府広報ラジオ番組「中山秀征のジャパリズム」で「自然の宝庫、森を歩こう！」をタイトルに放送。

(4月30日、5月1日)

- ▶ 田名部大臣政務官が自身の体験も交えながら解説。

中山秀征の
JAPAN RHYTHM ~ジャパリズム~



(実施中) 全国植樹祭・全国育樹祭



- ▶ 5月22日に和歌山県で第62回全国植樹祭を開催。
- ▶ 11月20日に奈良県で第35回全国育樹祭を開催。
- ▶ 国際森林年子ども大使「葉っぱのフレディ」の参加など、国際森林年関連展示や国際交流活動を計画中。



(実績) 国際森林年記念切手



- ▶ 5月20日、国土緑化・国際森林年記念切手が発売予定。
- ▶ 国連UNFFの呼びかけに応じ、世界的な記念切手発行の動きとも連携。
- ▶ 全国植樹祭開催地の和歌山県の代表的な樹木とセットのデザイン。



(実施中) 「いのちの森づくりリレー植樹」



- ▶ 国際森林年にちなみ、宮脇昭名誉教授の指導によるリレー植樹の計画。
- ▶ 台風による風倒被害跡地への植樹など防災に力点を置いた植樹を含む。
- ▶ 東京都豊島区(5月22日)、白神山地(7月2日)、愛知県豊橋市(7月10日)など全国で12か所。



(3月30日付け
毎日新聞)

(実績) ダイヤモンドトレールサミット



- ▶ 5月14日、大阪、奈良、和歌山を結ぶ約45キロの登山道を活性化させるため、3府県の10市町村の首長らによるサミットが開催。
- ▶ 「ダイトレを歩こう！！」と題した記念イベントには山ガールや橋下知事も参加。



(実績) 小学生作文コンクール (森の町内会+キッズニア東京)



- ▶ 小学生に、日本の森を元気にするためにはどうしたらいいかを考えてもらう、作文コンクールを実施。
- ▶ 6月2日(木)にキッズニア東京で表彰式を開催。最優秀者には林野庁長官から木の賞状を授与。
- ▶ 入賞者は、高尾森林センターでの林業体験に招待。



(実績) 震災復興支援シンポジウム



- ▶ 5月22日、国連大学において「森は海の恋人」の畠山重篤氏を基調講演に迎え、震災復興支援シンポジウムを開催。
- ▶ 森里海の連環、森づくりの循環や生物多様性の観点から震災復興と地域の再生を討論。
- ▶ 当日は皇太子殿下も行啓し、シンポジウムを聴講。



5/22 日曜日
震災復興支援シンポジウム
 国連生物多様性の10年と国際森林年を踏まえて
 会場：国連大学 フラント国際会議場(京谷店)
 日時：2011年5月22日(日)・(国際生物多様性の日) 13:30-17:00(13:00開場) 自由参加無料

今回の震災で大きな被害を受けた東北地方の方向に心を向かい、申し上げます。本日の精神で共に歩むことを願っています。東北地方で森と海の連環に寄り添ってこられたNPO法人「森は海の恋人」の畠山さんをお招きし、森・海・山の連環、森づくりの循環、生物多様性、森林復興の課題など多様な観点から震災復興と地域の再生を議論します。

【シンポジウムプログラム】
 ○基調講演
 基調：「震災復興に向けて～森と海の連環～」
 講師：畠山 重篤氏(NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授)
 ○パネルディスカッション(無料参加)
 コーディネーター：宮内 和博(国連大学副学長、日本環境学会会長)
 パネリスト：畠山 重篤氏(NPO法人「森は海の恋人」代表、京都大学社会連携教授)
 入りかた：無料(国連大学スタッフは2011年5月22日(日)13:00開場) 席中 無料(国連大学主催者)
 申込：広行(林野庁長官) 藤本 敏(水産庁長官) 藤本 敏(水産庁長官) 藤本 敏(水産庁長官)

(実績) 森林総研の公開講演会 「日本の森を活かそう！」



- ▶ 6月12日、東京大学安田講堂における森林総研の公開講演会には約600名が参加。
- ▶ 記念講演は佐々木毅氏の「日本政治と森林」。
- ▶ 国際森林年のサブテーマに沿って、最近の動向と最新の研究成果を紹介。



(実施中) MOTTAINAI GREEN 2011



- ▶ 6月19日、イオンレイクタウンにて、ケニアの植林活動支援や、国内の森や木の再生、有効活用までMOTTAINAIキャンペーンの活動を国際森林年に併せて紹介。
- ▶ 6月29日、毎日ホールにて、ワンガリ・マータイさんのドキュメンタリー映画の国内初上映会を開催。



(実施中) エコ・ファースト推進協議会による「エコとわぎコンクール」



- ▶ 6月～8月、森に関わることわざを小中学生から募集し、審査・表彰。
- ▶ 環境トップランナー企業の集まりである「エコ・ファースト推進協議会」の取組。
- ▶ 表彰式は国際森林年記念事業との連動も検討。



(実績) 海岸林を考える



- ▶ 東日本大震災で失われた海岸林の役割と再生について各層の関心が高まっているところ。
- ▶ 6月22日、木材会館(新木場)で日本海岸林学会主催のシンポジウムが開催。
- ▶ 震災後4ヶ月の7月11日には公益財団法人オイスカが国際シンポジウムを開催。



(実施中) いきものにぎわい企業活動コンテスト



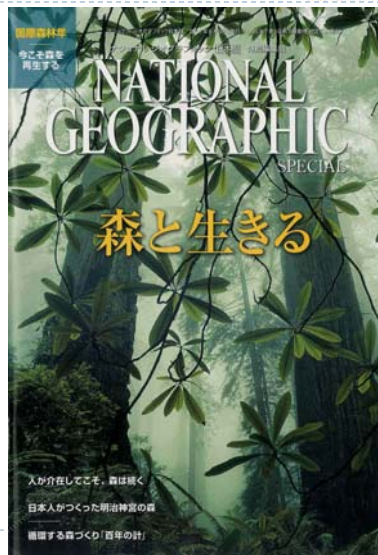
- ▶ 国内外での生物多様性の保全、持続的な利用について、企業、組合等の活動を募集・顕彰するコンテスト(応募締め切り:7月20日)。
- ▶ 本年は国際森林年特別部門を設け、森林の再生・活用等、森づくりに関する特色ある活動を顕彰する。



(実績) 雑誌連携：
ナショナルジオグラフィック日本版



- ▶ 6月30日、ナショナルジオグラフィック日本版の別冊として、森林特集が定期購読者向け7万5千部に同封。
- ▶ 特集の中では森林・林業再生プランが紹介されるほか、農林水産省からも国有林野事業に係る広告を出稿。
- ▶ 森林特集は別途、5千部をイベントなどで配付。



(実績) 第5回美しい森林づくり
全国推進会議



- ▶ 7月4日、経団連ホールでの全国推進会議には国際森林年国内委員会より4名の委員が参加。
- ▶ 東日本大震災に係る海岸林防災林の再生や、生物多様性保全と調和した社会づくりについて考えるシンポジウムを併せて実施。



出井委員



大久保委員



宮林委員

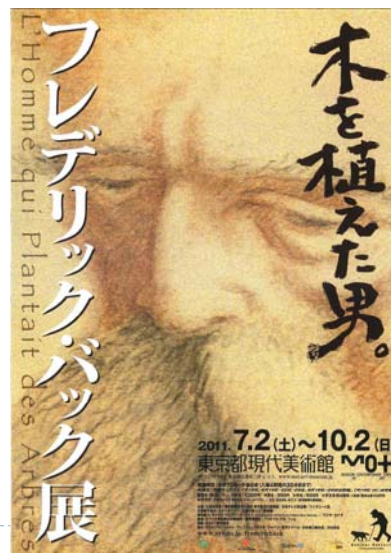


赤池委員

(開催中) 「木を植えた男」
フレデリック・バック展



- ▶ 7月2日(土)～10月2日(日)、東京都現代美術館において、フレデリック・バックの企画展示が開催。
- ▶ 「木を植えた男」を含め、アカデミー賞を2度受賞したアニメーション作家であり、展示はスタジオ・ジブリが企画協力。



(実績) 森を守ろうチャリティコンサート



- ▶ 国際森林年を記念する「森を守ろうチャリティコンサート」の開催を予定。
- ▶ 収益は国土緑化推進機構への寄付。

日時：7月12日(火) 夕刻
演奏：読売日本交響楽団、
宮本笑里(バイオリン)
場所：浜離宮朝日ホール

読売新聞
+
朝日新聞



指揮：円光寺雅彦
バイオリン：宮本笑里



(予定) 市民と森林をつなぐ国際森林年の集い



- ▶ 夏頃、地方団体と連携したシンポジウムを全国7箇所で開催(例:7月17日、岡山県真庭市)。
- ▶ 映画「森聞き」でも紹介された「森の名人」の知恵や技術を次世代に伝承。
- ▶ 東北地方では震災復興の要素を加えて実施。
- ▶ 「国際森林年推進事業」の取組の一つ。



映画「ひめゆり」の柴田昌平 監督 第2作
2011年3月5日より全国順次公開

**(予定) 「学校林・遊々の森」
全国子どもサミットin信州**



- ▶ 「学校林」「遊々の森」での学習・体験活動を広げていくため、8月4日～5日に長野県松本市で開催。
- ▶ 子どもたちの森林での活動の発表、先生方による意見交換会などを行い、その内容を全国の小学校に情報発信。
- ▶ 国際森林年を記念して、海外での植樹活動のパネル展示なども実施予定。



**(予定) 国際森林年記念会議
「生物多様性・観光と森林」**



- ▶ 7月21日(木)、名古屋市において中日新聞社と共催するシンポジウムを開催。
- ▶ 「国際生物多様性の10年」の開始及び小笠原諸島の世界自然遺産登録の普及啓発を目指す。
- ▶ 「国際森林年推進事業」による国際森林年記念会議の第一弾。



小笠原世界遺産登録

(予定) 二科展でのポスター展示



- ▶ 「二科展」デザイン部ポスター部門で、国際森林年をテーマとした公募展を実施。
- ▶ 8月31日～9月12日の六本木・国立新美術館を皮切りに、全国の巡回展で展示。
- ▶ 受賞したポスターは、その他の国際森林年イベントでの活用も検討。

